

仁木病院のルーツは、明治に祖父が山崎町に仁木病院を開業し、熊本では初めて精神科を標榜した事から始まります。その後、会長の仁木正弘が昭和39年に、この月出の地に病院を開設いたしました。当時、民家は少なく病院の周囲は竹林とスイカ畑、健康飛行場が近くにあり、今の西側にあるグラウンドの所に、ぼつりと病院が建っていたのを幼心に記憶しています。その後は、皆様もご存じのように病院はすっかり建て換えられ現在の姿になっています。周囲もきつしりと建物も増えてまいりました。そつう時代の变化、環境の変化の中で仁木病院自体も変化してきています。今までの精神科のイメージを変え、明るい開けた地域に根ざした病院を目指しています。

現在、皆様にはご迷惑をお掛けしていましたが、栄養部が最新の設備となりデイケアの1階部分に新築移転し平成18年1月には稼働致しました。同時に2階にあるデイケアは広くなりアメニティのアップを図りより快適に利用しやすくなるようにいたしました。

栄養部があったフロアー部分には、生活相談室、心理カウンセリング部門が移転します。催眠療法、EMDR等の特殊な診療を行うスペースばかりでなく、カウンセリングを行うスペースと子供の治療を行うプレイルームも新たに設置いたします。

更に、4月にはスタッフも充実する予定で大きく変化する平成18年になると期待しています。うつ等をはじめとする心を病んだ方々ばかりでなく、PTSDなどで苦しんでおられる方々の治療をしてきましたが子供の心の問題というニーズにも対処できるようになります。更に、病気の方のみを対象にした病院から病気ではないストレスを持った一般の方々に寄り添ったスタイルでストレスケアも手がけていく予定です。これからも変化していく皆様の仁木病院を、皆様と一緒に育てていきたいと思っておりますので、ご声援のほど宜しくお願い致します。



デイケアルームです。癒しの空間。

ヨーガやストレッチ、瞑想をしています。くつろぎの空間。



最新の食器洗浄室

新しく生まれかわった調理室

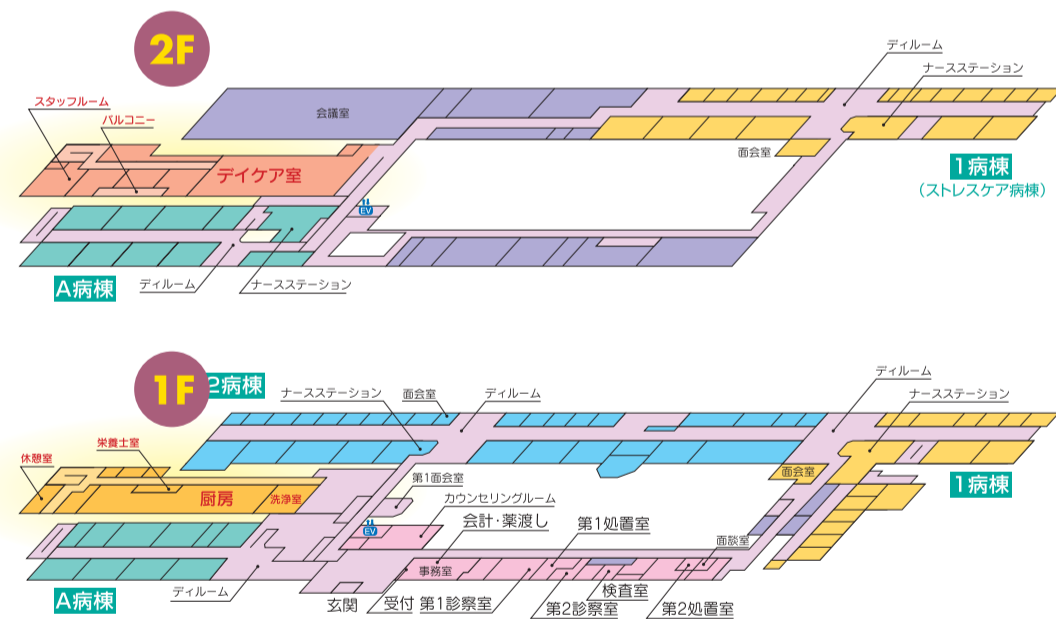
「創刊のことば」

仁木病院院長 仁木啓介



一階 栄養部 二階 デイケア部

新 栄養部完成!!



仁木病院広報誌 そよ風通信 創刊号

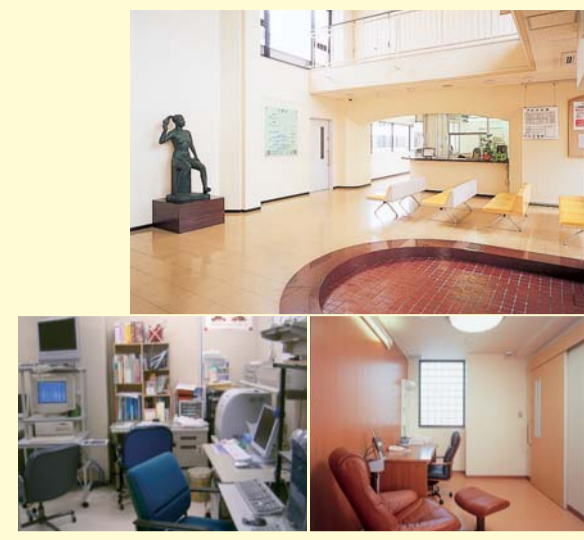
■発行/仁木病院 ■院長/仁木啓介  
■発行日/平成18年2月14日【創刊号】

NIKI HOSPITAL

仁木病院の理念  
患者様の心の痛みを理解し、人間愛を込めたケアを行います。気軽に受診相談できる、明るい病院を創ります。患者様の社会復帰を第一の目標に、常にサポートを行います。時代の流れを読み、向上心をもって最先端の医療を提供します。地域社会に根ざした精神科医療を行います。

医局紹介

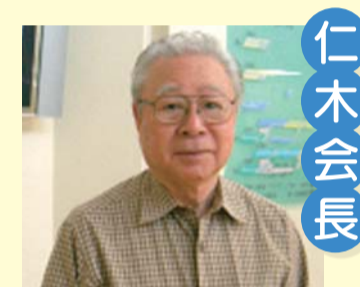
はい、ここが仁木病院の医局です。どこの医局もそうでしょうか。見ての通りいつもきれいにセリトーンされています。あ、ほんとキレイ。



仁木院長



大きな目をくりくりさせています。患者様はもちろんスタッフにも大人気。特殊診療は3ヶ月先まで予約で一杯です。あ、だから忙しいのね。院内を走りまわっているドクターを見かけたらそれは院長です。疾風のヨーに現れて〜♪



仁木病院会長です。いつもさっそうとしています。白衣を着ずに一般の人の視点で院内を歩いています。そのため新人ナースに不審な顔をされたことは二度三度。はい、みなさん、ちゃんと会長の顔を覚えてください。趣味は写真撮影です。腕はプロ並み。



飄々とすずめにエサをやっています。くくくと自分で言ったことを自分で笑ってまわりの人を取り残すのが岩淵Dr.の味のあるところ。犬の散歩や渓流釣りなどが趣味。自然や動物が大好き。スマートなドクターです。

小早川Dr.



往年の名人を彷彿とさせるその語り口についつい、その、耳を傾けてしまいます。物静かなまなざしは内科医のきびしさやさしさとユーモアにあふれています。はい。

平村Dr.



毎週水曜日に外来を担当しています。ジャズバンドを組んで夜な夜なジャムっていたというバリバリのジャズドクター。パソを打つ手もスイングしてます。イエイ!

林Dr.



医局一の体格。その風貌は三国志に出てくる豪傑そのもの。やさしくおだやかな人柄に誰もが林Dr.のファンになります。

宮里Dr.



学生時代に鳴らした卓球の腕前は…。院内で右に出る人はいません。愛ちゃん風のサーブはさすがです！宮里Dr.はデイケアの担当ドクターです。

夢占いの解説

空は自由になれる。悩みが解決する。水は楽しいことがある。追われるは欲求が満足される。写真は友だちができる。落ちるはなにかいいことがある。子供は何か大切な忘れ物をしている。年は迷いがあってもすぐ行動しないように。トイシはすこし休憩しなさい。迷うは決断するのは今。汽車は恋人が出来る。はい、いかがでしょう。夢は精神の健康のバロメーターです。心地よい「すいみん」をどーぞ。おやすみなさい。

事務局からのお願い

仁木病院では、保険事務所からの指導により診察毎の保険証の確認を行っております。ご提示なき場合は、保険証の使用ができない事もあります。老人医療の対象とならない七十歳以上の方は受付窓口で保険証と一緒に「高齢受給者証」を提示してください。ご協力お願い致します。

保険証 高齢受給者証

お知らせ

ただ今、図書室や子供のプレイルームなどを増設中です。当院では、ご家族の方などによる院内見学も受け付けていますので、気軽にお尋ねください。

お願い

仁木病院広報誌は年に数回発行の予定です。ご意見・ご感想がございましたら、仁木病院まで皆様の声をお聞かせください。今後の広報誌づくりに役立てさせていただきます。

デイケアから一言

デイケアチーフ 矢形 郷

いよいよ念願の新デイケアの幕開けです。当院デイケアは発足して二年が過ぎました。この度デイケアルームの大増築が完成したことでもさらなる飛躍をえいといと気合い十分といったところです。さて、当院デイケアの特長はリラクゼーションに重きをおいたプログラムにあります。ストレスの多い現代社会のオアシスとしての位置づけを発足以来守り通しているところです。今後とも新デイケアをよろしくおねがいします。



「新栄養部」が完成して。

栄養部長 仁木 明美

新しい年の始まりと共に栄養部が完成しました。二十数年お世話になった本館北側二階より西側一階に移転し、新たな気持ちで毎日頑張っています。

今回の新築で厨房の最新機器を取り揃えました。特に、保温食器を温冷配膳車に変え、温かい食事はより温かく、冷たいものはより冷たくし、患者様に提供しています。

これからも、栄養部一同、安全で美味しい食事作りのために努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記 編集委員 矢形 郷

仁木病院の広報誌「そよ風通信」の創刊号をお届けします。創刊号を手にとっていかがでしたか。普段着の精神科を知っていただけたらと思います。このたび広報誌をつくるにあたっては不慣れた編集作業で予定を大幅に遅れてしまいました。また、稚拙なところも多々あるかと思いますが笑ってお納めください。最後まで読んでいただけたなら望外の喜びです。編集者一同、感謝いたします。これからも「そよ風通信」をよろしくお願ひいたします。

広報委員 津崎事務長(委員長) 矢形(デイケア) 川上(薬室) 小川(処置室) 高藤(栄養) ミツ石(事務) 秋成(相談室)

精神科・神経科・神経内科

医療法人仁木会 仁木病院

〒862-0920 熊本市月出4丁目6-100

TEL 096-384-3111

受付時間 8:30~11:30/13:00~16:00

診療時間 9:00~12:00/13:00~16:30

※ストレスケア外来(要予約) ストレスケアカウンセリング(要予約)

休診日 土・日・祝祭日(水:予約のみ)

※緊急の場合は、その限りではありません



